

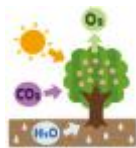
# よこすか E C O 通信



第28号(平成30年3月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## 私たちのくらしと生物多様性の恵み



私たちは、水や空気をはじめとして、生物多様性の恵みを受けて生きています。

地球上では人間だけではなく、動物や植物、昆虫、海の生きものなど、いろいろな生きものがお互いにつながりながら生きています。これが生物多様性です。

生物多様性は「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つの多様性から成り立っています。この生物多様性からの恵みを“生態系サービス”といいます。

### 生態系の多様性



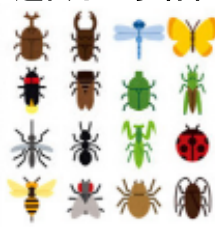
森、山、海、川などいろいろな自然があること

### 種の多様性



動物、植物、昆虫、微生物などいろいろな生きものがあること

### 遺伝子の多様性



色・形・模様・生態などたくさんの個性があること

私たちが生きていくために欠くことのできない生物多様性ですが、日本の生物多様性は4つの危機にさらされています。過去にも自然現象などにより大量絶滅が起きていますが、現在は第6の大量絶滅と呼ばれています。人間活動による影響が主な要因で、地球上の種の絶滅のスピードは自然状態の約100～1,000倍にも達し、たくさんの生きものたちが危機に瀕しています。

#### ➤第1の危機

開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少（人間活動の影響）

#### ➤第2の危機

里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下（人の自然への働きかけの減少）

#### ➤第3の危機

外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱（人が持ち込んだ外来種や化学物質）

#### ➤第4の危機

地球環境の変化による危機（地球温暖化）

生物多様性を守り、その恵みを受け続けられるように、  
私たちもできることから始めませんか。

MY行動宣言 生物多様性を守るために、私たちにできる5つのアクション！

ACT1 地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。

ACT2 生の自然を体験し、動物園・植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。

ACT3 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。

ACT4 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。

ACT5 エコマークなどが付いた環境にやさしい商品を選んで買います。

詳しくは、環境省HP (<http://undb.jp/spread-action/>) をご覧ください。

2面は春の環境学習講座などのお知らせ、3面は『横須賀かんきょうフォーラム2018』、4面は季節の自然図鑑（今回は「ウミウシの多様性」です）を掲載しています。

# 春の環境学習講座などのお知らせ



## 横須賀市自然・人文博物館

### 〇トピックス展示「桜・さくら・サクラ」

日 時 ～4月15日（日）  
場 所 自然・人文博物館 常設展示室  
内 容 植物としての「サクラ」だけでなく、わたしたちのくらしの中の身近な「桜」の利用について展示、解説します。

### 〇トピックス展示「何につかったの？ ー不思議な形の土器たちー」

日 時 ～6月10日（日）  
場 所 自然・人文博物館 常設展示室  
内 容 古代につくられた土器の中には、現代人の私たちには何につかったのかわからないものが数多くあります。不思議な形の土器について、古代人の気持ちになって考えてみましょう。

開 館 9:00～17:00  
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）  
入館料 無料  
問合先 横須賀市自然・人文博物館  
〒238-0016 横須賀市深田台95  
電話824-3688

## 小中学生の土曜体験プログラム すかっ子セミナー2018

対 象 市内の小学校3年生～中学生（原則）  
活動期間 各コース 5月～10月の土曜日1回（9-2コースを除く）  
（9-2コースは、ほぼ毎週活動しています）  
全体会 5月12日（土）オリエンテーション、まなびかん  
11月17日（土）合同発表会、まなびかん（予定）  
主 催 市民活動団体による“すかっ子セミナー実行委員会”  
【募集コース】

| コース | 分野・コース名               | 募集人数 |
|-----|-----------------------|------|
| 1   | 生活環境 エコニコ・サークル        | 5    |
| 3   | 郷土文化 北下浦の良いところ見つけたい   | 12   |
| 5   | 自然系A 川がき探検隊 河口～上流〇かじり | 20   |
| 6   | 自然系B ふれあいの森たんけんチーム    | 10   |
| 8   | 自然系D 海っ子・山っ子～灯台を訪ねる～  | 15   |
| 9-1 | 自然系E ヨット・クラブ（体験組）     | 4    |
| 9-2 | 自然系E ヨット・クラブ（根性組）     | 4    |
| 10  | 創作科学 創作・科学クラブ         | 10   |

費 用 1コース4,000円、2つのコース受講の場合7,000円  
9-1コースは、他に特別参加費10,000円  
9-2コースは、他に特別参加費30,000円が必要です。  
申 込 学校等に配布の「募集チラシ」を確認の上、申込むこと  
募集期間 4月1日～28日  
問合先 電話046-823-1965（YPS 事務局 藤澤）

## 市民大学さがけ講座



### 「神奈川の大地の成り立ちを探る」

地球の進化を知る 海・山・川・石はどうしてできたのか  
日 時 4月10日～5月15日の毎週火曜日 13:30～15:30  
場 所 生涯学習センター（ウェルシティ市民プラザ内）  
受講料 3,080円  
定 員 80人  
申込締切 3月15日必着  
定員に余裕があれば締切後も受付けます。下記までお問合せ下さい。  
申 込 講座名・住所（市外在住の方は勤務先・学校名と所在地も）  
・氏名・年齢・電話番号をはがき、電話、来館で下記問合  
先へ。またはHP（<http://www.manabikan.net/>）から。  
問合先 生涯学習センター（まなびかん）  
〒238-0046西逸見町1-38-11 電話822-4873

☆ 市民大学前期講座のお知らせは、広報よこすか・まなびかん  
ニュース4月号に掲載します。

## キッズ自然教室Ⅱ（田植え、稲刈り）

★詳しくは広報よこすか4月号をご覧ください★

☆田植えや稲刈り、また公園内の昆虫や植物などの自然観察を  
通して、里山の自然に親しむ5回コース

### 【要事前予約】

- ①オリエンテーションと自然観察  
5月 5日（土） 9:30～12:00 集合 9:20
- ②田植え  
6月 2日（土） 9:30～12:00 集合 9:20
- ③夜の森を歩く  
7月 7日（土） 18:30～20:30 集合18:20
- ④稲刈り  
10月13日（土） 9:30～12:00 集合 9:20
- ⑤脱穀  
11月17日（土） 9:30～12:00 集合 9:20

☆集合場所は全回とも水辺公園管理事務所前

参加費：250円（保険）  
定 員：小学生 先着20人（5回続けて参加できる方）。  
申込締切：4月21日（土）  
・詳細は水辺公園へ  
光の丘水辺公園（横須賀緑化造園協同組合）  
電話046-849-7650  
水辺公園友の会  
電話046-839-3438（山口）

## 植物観察（衣笠山公園）

☆衣笠山公園の植物を観察します。（雨天中止）

日 時 5月20日（日）9:30～14:30  
場 所 衣笠山公園 集合：JR衣笠駅9:30  
参加費 無料  
問合先 横須賀植物会  
電話046-849-7684（伊藤）



# 市内の環境活動を紹介する

## 「横須賀かんきょうフォーラム2018」を開催しました

1月27日(土)にヨコスカ・ベイサイド・ポケットで、「横須賀かんきょうフォーラム2018」を開催しました。環境ポスターコンクールなどの表彰式や、環境活動のステージ発表、JAMSTEC(国立研究開発法人海洋研究開発機構)の研究者 茂木 耕作(もてき こうさく)氏(通称“モテサク”さん)による講演「世界一〇〇なお天気アトラクション『スカッコ・イン・ザ・スカイ』」の他、フロアでは市内の学校、神奈川県、横須賀市の環境に関する取り組みのパネル展示や環境ポスターコンクールの入選作品も展示しました。

小学生の元気あふれる「私たちのエコ活動」発表の後、「スカッコ・イン・ザ・スカイ」では、小中学生の皆さんからたくさんの質問がありました。

### 1. 表彰式

- 「夏休みエコチャレンジ」鶴久保小、公郷小、野比東小(野比東小は欠席)の3校
- 環境ポスターコンクール 入選者22名
- 「横須賀いいね★エコ活動賞」  
【一般の部】ヨコスカママナビ、国際ソロプチミスト横須賀 津久井小の3団体  
【学校短期活動の部】大矢部中、鶴久保小5年生、追浜小6年生、城北小5年生の4校



環境ポスターコンクール  
入選者と協賛企業の皆様

### 2. 発表！私たちのエコ活動

追浜小は学区の清掃活動をしてみんなで考えたこと、城北小は平作地域本来の自然環境を取り戻すために活動したこと、大塚台小は外来生物について考え活動したことなど、一年間の環境活動を発表しました。



子どもたちの元気な活動発表

### 3. スカッコ・イン・ザ・スカイ

寒波や大気、日本の天気と亜熱帯の天気のつながりなど様々な研究について話をいただきました。小中学生からたくさんの質問がありました。



講演の終了後も質問が続きました

### 4. フロア展示

追浜小、城北小、田戸小、野比東小の皆さんは、猿島探検や観音崎ウォークラリーなど、市で行っている自然観察会に参加した体験を壁新聞にまとめました。

大塚台小は吉井の自然や外来生物の問題について、鶴久保小は環境守り隊として節電に取り組んだことをまとめました。

神奈川県資源循環推進課は「手作りマイバッグ教室」を開催しました。

神奈川県環境計画課は地球環境問題を自分のこととして考え解決するための「マイエコ10普及活動」について展示しました。



マイバッグを持ち歩く

水を大切にする

食べ残しに気を付ける

電気をこまめに消す！

身近な川にも魚や鳥が住みやすくなるようにしたいです

ごみをポイ捨てしない！

スカリンへ  
来場者からの環境メッセージ





ウミウシとは、貝殻をもたない巻き貝のなかまの総称で、ひとつの種類を指す名ではありません。ウミウシは貝殻をもたないことで、じつに多様な進化をとげたグループなのです。

海では春から夏にかけて、1年でもっとも潮が引きます。この時期、横須賀市自然・人文博物館付属の天神島臨海自然教育園の磯ではたくさんの「ウミウシ」を見つけることができ、これまで100種以上が確認されています。

**アオウミウシ**は全長5cmほどの磯で見られる代表的なウミウシで、カイメン動物を食べています。美しい色彩をしていますが、眼は退化して色や形を判別するような視力はなく、自分たちの色や模様を知ることはできません。餌やなかまを探すときはにおいを頼りに行動します。

**アメフラシ**は全長30cmを超えることがある大型のウミウシで、海藻を食べているベジタリアンです。体は大きくても、その寿命はたったの1年で、短い一生で大きく育つためたくさんの餌を食べ、ときには養殖のワカメを食い荒らしてしまつて、漁師さんに嫌われることもあります。

**ムカデミノウミウシ**は全長8cmほどの細長い体をしたウミウシで、刺胞動物(クラゲやイソギンチャクのなかま)を食べています。体をおおう「みの」のようなたくさんの突起には、餌の刺胞動物から奪った毒針つきの細胞をためていて、これを使って身を守ります。また、体内に「共生藻」という微細な藻を共生させていて、光合成によるエネルギーにより、数か月の間、餌を食べなくても光だけで生きていくことができます。



色彩の美しいアオウミウシ



危険を感じると紫色の液を出すアメフラシ



体内に共生藻をもつムカデミノウミウシ

(横須賀市自然・人文博物館 萩原清司)

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力: 横須賀市自然・人文博物館  
(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課  
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523  
E-mail: [ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

この情報紙は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。  
「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

